



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナイガイ
 コード番号 8013 URL <http://www.naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月16日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (プレス向け)

(氏名) 泉 潔
 (氏名) 市原 聡

TEL 03-5822-3810

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	8,058	2.1	△226	—	△168	—	△184	—
26年1月期第2四半期	7,896	△4.1	△241	—	△153	—	△160	—

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 △248百万円 (—%) 26年1月期第2四半期 316百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	△2.25	—
26年1月期第2四半期	△1.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	12,996	8,105	62.2	98.35
26年1月期	13,404	8,354	62.1	101.37

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 8,079百万円 26年1月期 8,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	—	—	0.00	0.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	2.7	50	—	50	△49.1	20	△75.1	0.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期2Q	82,172,815 株	26年1月期	82,172,815 株
② 期末自己株式数	27年1月期2Q	26,399 株	26年1月期	18,178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期2Q	82,151,332 株	26年1月期2Q	82,136,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策等を背景として企業収益の改善がみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。一方で、4月以降は消費税増税前の駆け込み需要の反動から、耐久消費財を中心に個人消費が落ち込んだ他、消費税増税と物価上昇で実質賃金が前年割れとなっていることなどから、先行き不透明感は依然継続しています。

衣料品業界におきましては、消費税増税前はラグジュアリーゾーンが売上を牽引しましたが、4月以降は駆け込み需要の反動から前年割れが続いており、徐々に回復傾向にはあるものの消費者の慎重な購買姿勢は続いています。

こうした中、当社グループは、レグウェアのジャストシーズン商品の販売強化、メンズアンダーウェアの販売強化、ネット通販事業の拡大など、増収、増益に向けた取り組みを進めてまいりました。

卸売り事業につきましては、レグウェアは、消費税増税のタイミングでの冬物商品の早期引き上げの影響などで第1四半期に返品が増加したものの、店頭前売が総じて堅調に推移したことから概ね計画通りの販売となり、前年を上回る売上となりました。メンズアンダーウェアは、展開店舗及び展開スペースの増加により前年から売上を伸ばしました。

通信販売事業は、インターネット通販が好調に推移し大幅増収となりましたが、テレビショッピングは事業規模適正化策によるブランド集約の結果、前年より売上を落としました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,058百万円（前年同期比2.1%増）、営業損失は226百万円（前年同期比15百万円の増益）、経常損失は168百万円（前年同期比15百万円の減益）、四半期純損失は184百万円（前年同期比24百万円の減益）となりました。

セグメント別の業績概要は以下の通りです。

(卸売り事業)

卸売り事業の主体であるレグウェア事業では、百貨店・専門店販路の紳士靴下は、ショートソックスの販売強化を目指しました。消費税増税後の販売は、駆け込み需要の反動減と天候不順等の影響から前年に届かなかったものの、期末セール商材の積極的投入と秋物商材の先行投入によりほぼ計画通りの売上となりました。アンダーウェアも、展開店舗数の拡大と、フェア展開と連動した販促活動の効果により前年から売上を拡大出来ました。婦人靴下は、アウターのカジュアル化の流れから、特にスニーカーと合わせるショートソックスの売上が好調に推移しました。

量販店販路につきましては、大手GMSのPBと新ブランドの展開が新しく始まったことにより販売拡大が出来、前年から売上を伸ばしました。

その他卸売り事業の株式会社NAP、ロンデックス、OEM、輸出、海外子会社の事業については概ね前年並みの売上となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間での卸売り事業全体の売上高は、6,477百万円（前年同期比2.7%増）、営業損失は196百万円（前年同期比63百万円の増益）となりました。

(通信販売事業)

通信販売事業につきましては、株式会社ナイガイ・イムが、テレビショッピングで不採算ブランドの整理、撤退の実施により、減収、減益となりましたが、商品原価率の改善と経費削減に努めた結果、営業利益は当初計画通りに推移しています。

インターネットショッピングを展開するセンチレーワン株式会社は、消費税増税前の駆け込み需要が好調だったことと、4～5月の反動減が販促活動などの効果で軽微に留まり、6月以降は再び前年実績プラスと好調に推移した結果、増収増益となり、当初計画を大幅に上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の通信販売事業全体の売上高は、1,724百万円（前年同期比0.8%増）、営業損失は24百万円（前年同期比43百万円の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して408百万円減少し、12,996百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が366百万円増加し、受取手形及び売掛金が614百万円、商品及び製品が69百万円それぞれ減少しました。固定資産は、85百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に対して159百万円減少し、4,891百万円となりました。支払手形及び買掛金が68百万円、電子記録債務が208百万円それぞれ減少し、借入金が短期、長期合わせて178百万円増加しました。

純資産につきましては、四半期純損失184百万円とその他の有価証券評価差額金の減少29百万円等により、前連結会計年度末に対して249百万円減少し、8,105百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し、62.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動で216百万円の獲得、投資活動で15百万円の使用、財務活動で179百万円の獲得となり、為替換算差額等を加えた合計で366百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は2,377百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が172百万円となり、売上債権の減少602百万円とたな卸資産の減少62百万円等の増加項目が、仕入債務の減少260百万円等の減少項目を上回ったため、216百万円の獲得（前年同期は321百万円の使用）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得19百万円等により、15百万円の使用（前年同期は51百万円の使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増100百万円と、長期借入れによる収入150百万円と返済による支出70百万円により、179百万円の獲得（前年同期は388百万円の使用）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期通期の業績予想につきましては、平成26年3月14日に公表いたしました業績予想から、本資料公表時点での変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,653	3,019
受取手形及び売掛金	3,614	2,999
商品及び製品	3,207	3,138
仕掛品	13	8
原材料及び貯蔵品	74	76
その他	339	340
貸倒引当金	△35	△37
流動資産合計	9,867	9,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43	39
土地	74	72
その他(純額)	122	108
有形固定資産合計	240	220
無形固定資産		
	334	296
投資その他の資産		
投資有価証券	2,746	2,723
その他	247	243
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	2,961	2,935
固定資産合計	3,536	3,451
資産合計	13,404	12,996

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816	748
電子記録債務	901	693
短期借入金	694	812
未払法人税等	34	29
賞与引当金	22	34
返品調整引当金	337	337
その他	595	509
流動負債合計	3,401	3,165
固定負債		
長期借入金	300	360
退職給付引当金	1,048	1,058
繰延税金負債	265	272
その他	34	34
固定負債合計	1,648	1,725
負債合計	5,050	4,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	7,691
資本剰余金	6,781	6,781
利益剰余金	△6,900	△7,085
自己株式	△1	△2
株主資本合計	7,570	7,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	634
為替換算調整勘定	93	58
その他の包括利益累計額合計	756	693
少数株主持分	26	26
純資産合計	8,354	8,105
負債純資産合計	13,404	12,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	7,896	8,058
売上原価	5,155	5,382
売上総利益	2,740	2,676
販売費及び一般管理費	2,981	2,902
営業損失(△)	△241	△226
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	21	23
持分法による投資利益	2	3
貯蔵品売却益	3	7
為替差益	68	16
その他	10	23
営業外収益合計	107	75
営業外費用		
支払利息	16	12
その他	3	5
営業外費用合計	20	17
経常損失(△)	△153	△168
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	—	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△172
法人税、住民税及び事業税	13	13
法人税等調整額	△6	△2
法人税等合計	6	10
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△159	△183
少数株主利益	1	1
四半期純損失(△)	△160	△184

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△159	△183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	△26
為替換算調整勘定	72	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	56	△2
その他の包括利益合計	476	△64
四半期包括利益	316	△248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312	△248
少数株主に係る四半期包括利益	4	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△172
減価償却費	65	69
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	11
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△22	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43	10
受取利息及び受取配当金	△22	△24
支払利息	16	12
為替差損益(△は益)	△2	0
持分法による投資損益(△は益)	△2	△3
売上債権の増減額(△は増加)	384	602
たな卸資産の増減額(△は増加)	△172	62
仕入債務の増減額(△は減少)	△490	△260
その他	52	△87
小計	△316	221
利息及び配当金の受取額	22	24
利息の支払額	△16	△12
法人税等の支払額	△11	△16
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321	216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16	△12
無形固定資産の取得による支出	△33	△6
貸付金の回収による収入	1	4
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△540	100
長期借入れによる収入	200	150
長期借入金の返済による支出	△48	△70
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388	179
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△723	366
現金及び現金同等物の期首残高	3,193	2,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,470	2,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,184	1,711	7,896	—	7,896
セグメント間の内部売上高又は 振替高	123	—	123	△123	—
計	6,308	1,711	8,019	△123	7,896
セグメント利益又は損失(△)	△259	18	△240	△0	△241

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,334	1,724	8,058	—	8,058
セグメント間の内部売上高又は 振替高	143	—	143	△143	—
計	6,477	1,724	8,201	△143	8,058
セグメント損失(△)	△196	△24	△221	△4	△226

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。